

Power By  
MGW2010  
R&D DBMT  
UNI MATRIX ONE  
For Adult Only!

エロエロエロエロ



SVUBI DOUBI AI! Version1.0



成年向 (18歳)

大隈に被弾した俺は  
たまにま現地に  
居合わせたという  
ウィッチ「魔文」の  
治療を受ける事により  
九死に一生を得た。

すまないね、芳佳  
ちゃんだっけ？  
すっかり良くなって  
きたよ、この傷

うごかないで  
くださいよ  
もう！

しかし…ウィッチと  
言ってもまだ年端の  
いかない少女じゃ  
ないか…しかも…  
結構な上玉だ。

しかし…キミが  
いなかったら…  
両足を切断しなきゃ  
いけないような  
ところだったよ

この治療魔法って  
いラヤツは部位が  
近いせいなのか  
ココにも影響が  
あちまうモノなの  
かな。

あちまおっ  
またオシリ  
撫でないで  
下さいッ

しかし…こんな最前線  
で若くて可愛い女子に  
介抱してもらえると何  
…なんてラッキーなんだ  
ろうな…どさくさに  
まぎれてこういう事も  
できるかな。



またこんなにおつきくして腫らして...



えっ？ロで？

どこまでも献身的な彼女のその奉仕の心俺はこの状況を最大限に利用してもうめいっばいに悪用している。



う~~~~っ

嘘は言っていない。射精しなければこの噴れは引かず、その大きさも元には戻らない。

将来は医者志望という彼女も...最初はたゆらい、触れる事も出来ぬ程にはずかしがっていたが...今では器を使ってもらってる



んっ.....んぶっ

じゅるっ

じゅる



その彼女の無垢な動きのデコちなマがさらに射精感を後押しする...



もおツ



ちよツ  
やだあ

や

芳佳ちゃん：  
ココ湿って来てる  
んじやない？  
なんかシミに  
なっちやってるよ



あツ

彼女は拒絶を  
しようとしな  
い。俺は卑怯だ。  
自覚してる。

この数日をかけて  
少しずつセクハラ  
範囲をすすめて来た  
ワケなのだが…  
とくに拒否マレて  
しまってもおかし  
くない行為にまで…

ホントに…  
怒りますよツ



ほらっ

芳佳ちゃんのココ、えっちなヌルヌルが溢れてきてる

やめっ

ひゃあひ



はっ

あっぱいのまきっばふっくりしてきてるえっちな芳佳ちゃんすごくかわいいよ

セア、とアの昔に俺の傷はとっくに完治しているのだ。彼女もそれに気が付いているはずだろう

あッ



はっ

俺が被弾した弾は、彼女の撃った流れ弾なのだ。だから彼女は自責の念にかられてこの地に留まり続け、この我儘を受け入れてるってワケだ



えっ？

引け目を感じている彼女に対し、時間をかけてなまなあとここまで来たが…一線を越えるのは少しだが躊躇した

それって

…ああ

ちゃんと機能が治ったかどうか…試さないとな…

やあ

やッ

痛ッ

未開通の彼女の性器はあまりに小さすぎてなかなか入っていかない俺は痛がる彼女に対し全体重をかけてみた

破瓜の悲鳴をあげる  
彼女の幼い性器を  
容赦なくかき分けて  
深々と突き刺さる我が  
男性器。数年ぶりの  
この感じ。忘れていた  
この感触。たまらない

いー痛いッ

ひッ

やッ

痛

油断をしていると即  
押し戻されてしまふ  
この感じがたまらない。  
必死の彼女の鼓動まで  
こちらに伝わってくる  
これだけで射撃しちゃうだ

あうッ

た……たすけて……  
りーネちゃん  
り……りーネ  
ちやあん……ッ



あッ

はッ

んあッ

あん

あうッ

あ

よ……しかッ  
ちや……んッ

ああ……お連れれの  
あの女の子だったら  
たぶん今頃向こうの  
キャンプの連中相手に……





やあッ

ッ

そ...それって

あの子のほうは  
ココに来てすぐ  
ヤラレちゃってた  
みたいだけとね

みんなもガマンなんて  
できるワケないわなあ。  
こんな真っ白なおシリに  
目の前ウロチョロマレ  
すやあなあ.....

リーネちゃん

は

ズ

ズ

はッ

ズ

ズ

う...う...お

はッ

ズ

そ...そんな

はう



アンタら二人は  
もう手離さんよ、  
ココが女としての  
悦びをたっぷり  
堪能するんじや、

ああッ

うッ

んあッ

はあッ





んはあ…

しばらく帰遠  
出来そうに無い  
状態なんですよお

ああ…坂本さん  
ですかあ…え？  
はい…はい…  
定期報告…  
でしたっけ

ふあっ



あはッ

ホント…手が離せない  
状態になっちゃってるん  
ですよあ…はい、リーネ  
ちゃんもおんなじ様な  
カンジで…二人がかり  
で大変な状態なんです。

はい、自分の滞在  
許可のほうで  
お願いします…  
いっそもうずっと  
延期の方向でよ



しばらくぶりだをっ  
元気になっておったか？

ん

でもおかげで……この  
烈風丸を鍛え上げる  
事が出来たってワケだ

ん？あぁ……コレか？  
この白いヤツか  
悪くないだろう？  
……うて……こらッ！

すまなかったな……  
何も言わずに旅に  
出て行ってしまっ  
……ちよと色々……な

チヨ

な……なんだ？  
いきなり押し倒す  
なんて……ちよ  
おちつかんか！

えっ…ああ…確かに  
土方のヤツとは道中  
ずっと同行はしていたが  
それが何か……ん？  
…どうかしたのか

私とヤツとの間に  
なにかあったとでも  
思っておるのか…？  
嫉妬しておるのだな  
…可愛いヤツめ…  
ふっふふふ…

んっ

バ…バカな…  
私はすでに貴様の  
妻のつもりだと  
言っておただろう

バカモノツ冗談だ！  
何をそんなにいきり  
起たせておるのだ。  
軍人たるもの常に  
冷静に……だぞ？

おあ…  
相変わらず  
立派だなっ

特に…この一週間は  
狭い機内に二人きり  
…若い男女の間に  
もよおすモノが  
湧き出てしまっても

あんっ

でもまあそう思われて  
しまっても不思議では  
ないかもな…なにせ  
二人きりの時間も結構  
長かったわけだし…

スリッパ



ちよ…い…息が…  
でき…ない…何を  
そんな本気になって  
怒っておるのだ

この生臭い…  
喉に絡みつく  
この感じ…  
久々の精液…

んほあッ

…って私の話を  
聞いているのか…？  
うーむ、しまった…  
…挑発しすぎた  
みたいだな…

びはあ…



こ…こんな貴様を  
見るのは初めて  
だぞ…う…それ程  
までに…嫉妬して  
おるのか？私の事  
独占したいのか？

はあ…はあッ

あッ

ま…待って…  
いきなり…  
い…挿れ…ッ

んあッ

あッ

はッ

貴様のコレ以外に  
私のオナナを満足  
させられるワケが  
ないだろう…ッ  
パカモノ…ッ

ホントに…何も  
なかったと…言っ  
てるではないかッ  
…う…浮気など…  
するわけなからう

…待てと  
いうの…ッ

くっ…こ…こんな  
今日は尚更に…  
太くて…か…硬い  
…猛々しい…

ッ



それほどまでに...  
私を独占したいの  
ならば...この  
貴様の行動で  
決着するのだから



こ...今度こそ...  
確実に...子を  
孕ませるのだぞ

隊を維持している  
莫大な資金や支援  
それがどこから  
来ているかなんて  
今まで想像すら  
していません  
でしたわ

ミーナ、ベリーヌ  
両名参りました  
入りますッ

中佐はとても  
大事な任務だっ  
て言っていました  
けども……これって

ほらっちゃんと  
顔を御見せ  
しないといッ

私の教えた  
とおりに……  
丁軍に……ね？

あ……あの  
ワ……ワタクシ  
にはやっぱり……  
ム……ムリ……

フフ……

……その娘が例の……  
ほろ……なかなかの  
上玉だね……まあ……  
リラックスしなさい

この大勢の高官や  
政治家達と一夜を  
共にしなければ  
いけないなんて……

どうして……  
どうしてワタクシ  
こんなコトに？  
どうしてですかの？

はい……あいさつ  
しっかりしてね

こ……今夜は……  
いっぱい楽しんで  
下さいまし……





ひいッ

いやですわっ  
ワタクシ  
やっぱりこんなの  
いやですわッ

やあッ

オイオイ、  
なんだまだ  
準備できて無い  
んじゃないのか？

それにすっかり  
怯えてしまっ  
てるじゃないか

ひいッ

……ここは私に  
お任せ下さい。  
しばしお待ちを

フフ…キンキョー  
しなくても  
いいのよ…

私達が…  
「いつも」してる  
ようにすれば…  
いいだけなのよ

さあ…力を抜いて  
リラックスして  
素直になつて心を  
さらけだして

そうよ……  
思い出してきた  
みたいね…  
ペリーヌ

あ…そ…そうですわ  
ワタクシあの一件  
以来、ずっと毎晩…  
中佐の調教を受けて  
…それ…で…えっと

ほほう…

あま…  
ちゅう…さ



ああ…頭がもう  
ボーッとして…  
何も考えられ  
ませんわ…

おほっこの娘  
自分からむしゃ  
ぶりついて  
きよるわ。

んむっ

あむ…ん

アナタ、カラダは  
ちやあんと覚えて  
いたのね。

ん

うっ…

「あの時」と同じ…  
このざわつく…  
せつない感じ  
…ああ…アタマが  
おかしくなりそう

んん

舐めてるだけで  
ココが溢れておる  
じゃないか。

こんな新人が  
キミの隙にまだ  
隠れていたとは  
なあ

んっ

知ってますわこの味…  
この感触…匂い…  
硬くて熱くて…  
脈打ってる…おちんぼ  
おちんぼ…美味しいっ

んんん



さまべりーヌ…  
教えたとおりに  
お願いしなさい

あ…は…はい…  
ワタクシのみだいな  
い…いやぢい…  
オ…オマンロ…

オジサマ達の嬉しい  
お…おちんぽを…  
挿れてください…

ワ…ワタクシ…  
じ…自分から…  
求めてる…  
男性の…アレを  
欲しがって…るう

「…心ゆくまで…  
可愛がって下さい…  
まし…お願い…  
します…の…」

は…う

は…う

では、遠慮なくこの  
娘を賞味させて  
もらおうとするかね

見事だ、中佐  
短期間によくぞ  
ここまで猿たモノだ  
さすがだな。

ワシも年甲斐も  
なく、いきり立って  
しまったよ…フフ

ああッ

ケモノや犬のように……  
四つんばいの格好で  
貫いてやろう

あひッ

判

ひいッ

たしかガリアの  
貴族出身だとが  
高貴な血筋じゃ  
ないですかね  
御馳走ですな。

はッ

あう

うッ

自分の孫ほどの年頃の  
娘を抱く愉しみは……  
なかなかやめられる  
モノではないぞ

腔内から  
押し返される  
程のキツマ……

ほ

ほ

ほ

ッ



あん

私は中佐のような  
豊富な女性のほうが  
好みですがね

このこぼれる様な  
たわわな乳房とか  
何層抱いても  
たまらんですなあ

アハッ

あッ

普段の気丈な隊長様  
からは想像できない  
変貌ぶりも大きな  
ポイントですか

ありがとう  
御座います

この…肢体  
心ゆくまで

御存分に…  
満喫下さい





**For Adult only !**

**シユビトウビアイ.....**

SYUBI DOUBI AI Version1.0